

QuickFire Challenge

本ビジネスコンテストでは、科学的なブレークスルーを進展させ、明日の医療制度を構築するイノベーションを世界中からクラウドソーシング式に募集します。

受賞者には、助成金、世界最高峰レベルの研究施設およびプログラム、リソースへのアクセス権、およびメンターシップが授与されます。

これまで、ジョンソン・エンド・ジョンソンは90以上のチャンレンジ（ビジネスコンテスト）を開催し、250の受賞者/チームに3000万ドルの助成金を授与しました。



Japan Smart Healthy Aging QuickFire Challenge

日本に本拠地を置くイノベーターや、世界中から日本を中心としたイノベーションに取り組む方々から、健康寿命の延伸を目指す有望な科学技術を募集します。イノベーションは、日本国内における科学の進歩を推進し、日本人のニーズへの対応に重点を置いたものにしてください。



募集開始：2024年10月1日

応募締切：2025年2月28日



受賞者/チームに授与



最大総額20万ドルの助成金



Johnson & Johnson Innovationのアジア太平洋エコシステムへのバーチャルアクセス権



Johnson & Johnsonのエキスパートによるメンターシップ

Japan Smart Healthy Aging QuickFire Challenge

募集領域

MedTech

- ビジョン（眼科）
 - 白内障手術と眼内レンズ（IOL）テクノロジー
 - 視野の範囲の拡大、見え方の質の向上、および光学調整機能の向上
 - 調節型IOLなど、新たな老視矯正のテクノロジー／治療法
 - より効率的で患者の予後を改善する白内障手術ワークフローの合理化
 - コンタクトレンズ技術
 - 視野の範囲の改善のための新たな老視ソリューション
 - 眼科医（ECP: Eye Care Professional）の処方成功率を改善するための、老視患者のスクリーニングとフィッティング法
 - マルチフォーカル（遠近両用）コンタクトレンズの患者のフィッティング体験向上と視力予後の改善
 - 眼に入る光をコントロールして見え方を改善し、眼の健康を守る方法
 - 前眼部・後眼部疾患および眼の健康のための眼内ドラッグデリバリーテクノロジー
- ロボティクスとデジタル：複雑な疾患の治療において、高度な可視化をサポートし、プランニングや意思決定を支援することを目的とした、AI、AR、アナリティクス、ナビゲーション、ロボティクス、テクノロジー主導型のスマートセンサーなどのテクノロジーやインプラントなど。
- BioMedTech：早期介入を可能にし、治癒を促進する、バイオマテリアルや生物製剤の開発



受賞者/チームに授与



最大総額20万ドルの助成金



Johnson & Johnson Innovationのアジア太平洋エコシステムへのバーチャルアクセス権



Johnson & Johnsonのエキスパートによるメンターシップ

Japan Smart Healthy Aging QuickFire Challenge

募集領域

Innovative Medicine

- オンコロジー（がん領域）
 - 膀胱がん、肺がん、前立腺がん、血液がんの画期的な治療法と変革的ソリューション
 - 予後予測を改善する技術
 - 高齢者の臨床試験への参加促進を図るためのアプローチ
- データサイエンスとデジタルヘルステクノロジー
 - 治療法の発見を向上・加速させるAI／MLテクノロジー
 - 患者の特定を促進し臨床開発を強化する、AI／ML支援高精度医療とデジタルヘルスアプローチ
 - 意思決定の情報提供を目的とした、無作為化対照試験の強化と状況把握のための包括的なエビデンス生成テクノロジー



受賞者/チームに授与



最大総額20万ドルの助成金



Johnson & Johnson Innovationのアジア太平洋エコシステムへのバーチャルアクセス権



Johnson & Johnsonのエキスパートによるメンターシップ

Japan Smart Healthy Aging QuickFire Challenge

評価基準

有望なソリューションを審査団が評価して、以下の基準を満たす能力を判定します。

- 高齢者に対する潜在的な影響と妥当性
- 有望なソリューションの独自性と現在の市場における競争力
- 技術の品質と実現可能性
- チームの信頼性と能力
- 有望なソリューションの妥当性が、データおよび／または概念実証（POC）によって確認されること
- 日本を中心としたイノベーションは、潜在的な健康寿命の延伸を目指し、以下のカテゴリの少なくとも1つにおいて、人々がより長く、より幸せな生活を送れるように支援するものである必要があります。
 - 申込組織の本部は日本にある。
 - 申込組織は日本に実体がある（たとえば、創設者、共同創設者、創設メンバー／幹部の1名以上が日本にいる）。
 - 申込者は、イノベーションは日本で発想を得た、および／または日本で得た洞察で発想を得たと明確に示すことができる。
 - 応募者には、日本における既存または計画中のコラボレーションがある。
- 今後2～3年以内に上市できる可能性がある



受賞者/チームに授与



最大総額20万ドルの助成金



Johnson & Johnson Innovationのアジア太平洋エコシステムへのバーチャルアクセス権



Johnson & Johnsonのエキスパートによるメンターシップ

Japan Smart Healthy Aging QuickFire Challenge

日本に本拠地を置くイノベーターや、世界中から日本を中心としたイノベーションに取り組む方々から、健康寿命の延伸を目指す有望な科学技術を募集します。イノベーションは、日本国内における科学の進歩を推進し、日本人のニーズへの対応に重点を置いたものにしてください。



募集開始：2024年10月1日

応募締切：2025年2月28日



受賞者/チームに授与



最大総額20万ドルの助成金



Johnson & Johnson Innovationのアジア太平洋エコシステムへのバーチャルアクセス権



Johnson & Johnsonのエキスパートによるメンターシップ